

青森中央経理専門学校 青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会 報告書

学校法人青森田中学園
青森中央経理専門学校
青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人青森田中学園 青森中央経理専門学校並びに青森中央文化専門学校は
令和3年度第2回学校関係者評価委員会を開催いたしましたので報告致します。

●開催日

令和4年 3月 2日（金） 14:00～15:10

●開催場所

本学園9号館（学術交流会館）3階 934教室

●企業等委員

栗原 良明 氏（FPエデュケーションズ青森 代表）
樽澤 康太 氏（株式会社ティエル・マネジメント／青森中央経理専門学校卒業生）
永井 栄 氏（医療法人白鷗会まちだ内科クリニック 事務長）
高坂 麻子 氏（公益社団法人 青森観光コンベンション協会 事業推進監／ねぶたの家 ワ・ラッセ 副館長）
太田 智三 氏（青森市横内町内会 町会長）
今 順司 氏（青森県アパレル工業会・株式会社蓬田紳装 取締役工場長）欠席
泉谷 里奈 氏（丸和繊維工業株式会社／青森中央文化専門学校卒業生）

●学校側

石田 憲久（学校法人青森田中学園 理事長、青森中央経理専門学校 校長）
久保 薫（学校法人青森田中学園 学園長、青森中央文化専門学校 校長）欠席
櫻庭 肇（学校法人青森田中学園 事務局長）
鈴木 伸吾（青森中央経理専門学校 主任教諭）
曾我 武（青森中央文化専門学校 主任教諭）
塚本 大広（青森中央経理専門学校 教諭）
佐藤 紋子（青森中央経理専門学校 教諭）
小笠原 華子（青森中央文化専門学校 教諭）
大水 咲良（青森中央文化専門学校 教諭）

●次第

1. 開会あいさつ

学校法人青森田中学園理事長 青森中央経理専門学校校長 石田 憲久

2. 出席者（委員）紹介

→資料に基づき、出席者を紹介

3. 規定・位置づけ

→資料に基づき、規定・位置づけを確認

4. 令和3年度重点目標の状況報告

→委員の皆様から資料に基づき、質問・意見等を頂く

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
・教員研修では、どのような内容の研修を行っているのか。	・教育指導力向上のため、年に一度開催している。今年度は、発達障害特性のある学生の理解と支援についての研修を行う。
・内定率は上がっているが、県内就職率は下がっているが、コロナが関係しているのか。	・毎年県外への就職を希望する学生が多いのが特徴だが、去年はコロナの関係もあり、県外の求人が少なかった。今年度は少しずつではあるが、県外の求人も増えてきている。
・青森中央経理専門学校入学予定者のコース別、専攻別の内訳を知りたい。	・青森中央経理専門学校入学予定者は33名、その内経理事務コースが17名、医療事務コースが14名、観光コンシェルジュコースが2名となっている。
・青森中央経理専門学校、青森中央文化専門学校入学予定者の出身を知りたい。	・青森中央経理専門学校入学予定者は、青森市内、青森市外が半々であり、県外からの入学予定者はいない。青森中央文化専門学校入学予定者は、3名が青森市内、残り8名が青森市外となっている。
・入学募集人数はコース別に定員が決まっているのか。	・定員はコース別に分けず、学年ごとに決まっている。
・teamsのメリット、デメリットを教えてください。	・以前は欠席の連絡等を当日の朝に電話で対応していたが、チャットでのやり取りになったので、授業準備等に充てる時間の確保が出来る。しかし、声色での体調や様子の確認ができないことはデメリットに感じている。

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
・観光コンシェルジュコースの入学予定者が相変わらず少ないが。	・コロナウイルス感染症拡大以前は2学年合わせて9名が最大人数であった。現在はコロナウイルス緩和後の観光事業の盛り上がりに向けて今から学んでいきたいという学生が多い。

5. 令和3年度第1回学校関係者評価委員会からの課題等に対する取り組み状況報告
→委員の皆様から資料に基づき、質問・意見等を頂く

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
・奨学金の利用状況を知りたい。	・令和3年度に関しては、給付型が2校合わせて約20名、貸与型が2校合わせて約10名が利用している。
・学費についての説明は、入学前に行う機会があるのか。	・オープンキャンパスや個別相談等で伝えている。オープンキャンパスでは保護者の方も来るので、保護者向けガイダンスを設け、詳しく説明している。
・卒業制作発表は学生にとっては一大イベントだが、今年度はどのような感じだったのか。また、10年前の学生と今の学生では、発表の仕方にどのような違いが見られるか。	・コロナウイルス感染拡大防止のために、今年度は外部の方を入れずに卒業発表を行ったが、学生たちは発表や質問の受け答えをしっかりと行っていた。発表の仕方については、それぞれの学生の発表の中身が整っているか否かの違いが大きい。10年前と比べ、内容がまとまっていて、自分の言葉で伝えることができる学生が多くなったと感じている。

6. 来年度の委員（案）

→資料に基づき、来年度の委員（案）について説明

7. 来年度の日程（案）

→資料に基づき、来年度の日程（案）について説明

8. 閉会挨拶

学校法人青森田中学園事務局長

櫻庭 肇

以上をもって、終了した。